

平成30年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）  
第1次試験の基礎能力試験試験問題における出題誤りについて

平成30年6月21日  
人 事 院

- 1 平成30年6月17日に実施した平成30年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）第1次試験のうち、基礎能力試験試験問題【No. 20】（21ページ）において、出題誤りがありました。
- 2 本問題は、与えられた条件の下で、2球目以降に投げられた3球全てをバットに当てる確率を選ばせるものです。当初、選択肢「2」が正答としておりましたが、改めて見直したところ、それぞれの場合が生じる確率を考慮しておらず、正答がないことが判明しました。  
そのため、本問題については、受験者全員が正答したものとして取り扱います。
- 3 人事院としては、適正な試験問題の作成に一層努めてまいります。

以 上

【No. 20】 2種類の球種(直球, 変化球)のいずれかを, それぞれ  $\frac{1}{2}$  の確率でランダムに投げ分ける機械を相手に, Aがバッティングを行う。Aがバットにボールを当てる確率は表のとおりであり, いま投げられている球種と, その直前に投げられた球種によって決まっている。

直前に投げられた球種 \ いま投げられている球種	直球	変化球
	直球	$\frac{1}{2}$
変化球	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{3}$

また, 同じ球種が3球以上続けて投げられた場合の3球目以降をAがバットに当てる確率は, この表の確率に  $\frac{1}{6}$  を加えた値になるものとする。

いま, この機械が1球目に直球を投げた後, 直球又は変化球をランダムに3球投げたとき, Aが, 2球目以降に投げられた3球全てをバットに当てる確率はいくらか。

1.  $\frac{13}{27}$
2.  $\frac{29}{54}$
3.  $\frac{16}{27}$
4.  $\frac{35}{54}$
5.  $\frac{19}{27}$